

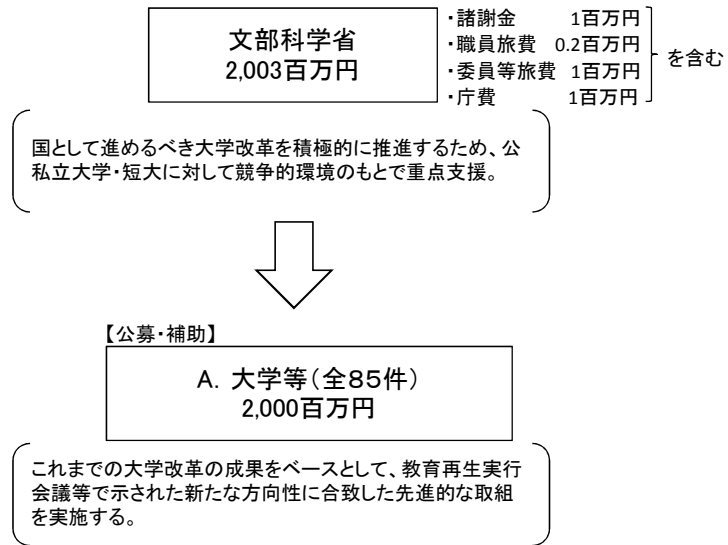
平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	大学改革加速プログラム		<b>担当部局庁</b>	高等教育局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成26年度・平成30年度		<b>担当課室</b>	大学振興課大学改革推進室		大学振興課長 里見 朋香		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	個性が輝く高等教育の振興 IV-1 大学などにおける教育研究の質の向上				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	-		<b>関係する計画、通知等</b>	日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定) 教育再生実行会議「これからの大学教育等の在り方について(第3次提言)」(平成25年5月28日)				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>これまで国は大学の質を向上するため、様々な提言・支援を行ってきており、大学も積極的に改革を進め、一定の成果がでている。今後は、その成果をベースに、教育再生実行会議等で示された新たな方針に対して、先進的に取り組む大学を支援することで、国として進めるべき改革を一層推進する。あわせて、各大学の改革を加速させ、より良質な学修を与える体制・環境を整備することを目的とする。また、今までの成果を広く周知・徹底するために、大学間で教育改革の状況を把握するとともに、アドバイスをを行う、高等教育FD・SD等のセンターによるネットワークを構築する。</p>							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	<p>今までの改革による成果の達成度を定量的に評価し、事前に文部科学省が設定した基準をクリア(もしくは明確な目標を設定しクリアすることを宣言する)大学が対象となる。 教育再生実行会議等で示された国として進めるべき改革の方向性に合致した申請プロジェクトを支援する。 上記の他、各採択プロジェクト間及び地方の大学間で、教育改革の状況を把握するとともに、アドバイスをを行うネットワークの形成を支援する。(定額補助:100/100)</p>							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計					2,003	
	執行額							
	執行率(%)							
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	各大学が設定した指標を達成した件数	成果実績	件	-	-	-	26~30年度までの最高値以上	
		達成度	%	-	-	-		
	ネットワークを構成する大学の件数	成果実績	件	-	-	-	26~30年度までの最高値以上	
達成度		%	-	-	-			
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	実施件数	活動実績 (当初見込み)	件	-	-	-	※26年度の活動見込である。 ( 85 )	
<b>単位当たりコスト</b>	23,529(千円/件)		算出根拠	単位当たりのコスト =26年度概算要求額(2,000百万円)/新規採択予定件数(85件) ※事務費は除く				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	大学改革推進等補助金	-	2,000百万円	「新しい日本のための優先課題推進枠」2,000百万円				
	大学改革推進等補助金事務費	-	3百万円					
	計	-	2,003百万円					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	日本再興戦略において、抜本的なガバナンス改革、多様な体験活動の促進に資する秋季入学に向けた環境整備を推進することとしており、更なる大学教育の充実と質の向上を達成すべく、国が実施すべき優先度が高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	国公立大学を通じた競争的環境の下、重点支援を行うことで、費目・用途は事業目的に即し、真に必要なものに限定されているといえる。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	国公立大学を通じた競争的環境の下、国として進めるべき改革を積極的に推進する大学の取組を選定・支援するため、効果的であり、低コストで実施することができる事業である。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定)では、世界で活躍できる人材育成のために、大学改革全般に関する「教育再生実行会議」の提言を踏まえて、抜本的なガバナンス改革、多様な体験活動の促進に資する秋季入学に向けた環境整備を実施し、大学を世界標準に変えていくことが急務とされている。本事業は、このような大学教育改革を促進する上で実効性の高い、効果的な事業であり、文部科学省で実施すべき事業である。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
<p>本事業は、成果目標及び活動指標も立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることなどから、当省の事業として実施することが適切かつ必要と認められる。</p>						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	—

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記入したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。



※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位：百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.大学等(全85件)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	大学改革加速プログラム事業費(85件)	2,000			
計		2,000	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0